

かめっ子だより No.189

上空からの眺めは最高！？

気球（熱気球）は、バーナーで内部の空気を加熱して周囲の冷たい空気より軽くする（密度を下げ、浮力を生む）ことで上昇します。大型扇風機で空気を送り込み、ガスバーナーで熱して膨らませ、風船の原理で浮力により空へ上がります。カゴの重さは約150 kg、そこにプロパンボンベを4本積み、さらに人間が乗りますので、結構な重さ。それでも浮いてしまうんですね。聞きますと、場合によっては自動車をも引きずることがあるそうです。

この日、私も気球に同乗させていただきました。浮いた瞬間、何とも言えないような気持ちになりました。周りから見ていた先生によりますと、校舎の3階ぐらいは上がっていたようです。ただし、この日は少し風が強く、上げるかどうか判断に迷う日でした。風のない瞬間を狙って上げていただきましたが、確かに上がれば上がるほど風で流されました。本来なら、もっと高いところまで上げていただく予定でしたが、この日はここまで。さすがに自然の力には逆らえません。

この後4年生は、気球に近寄らせていただき、バーナーの熱を感じたり、気球に触ったりすることもできました。また、校舎の窓からや実際に運動場に出て、その様子を眺めていた学年もありました。目の前で大きな気球が膨らんでいく光景は、一生記憶にも残ることでしょう。めったにできない体験をさせていただき、本当にありがとうございました。

ちなみに、この気球の絵柄、何かおわかりでしょうか？ 答えは「たこ焼き」だそうです。

